この地から！この力！

2016リオデジャネイロオリンピック 新体操競技 団体総合8位

直撃インタビュー

フェアリージャパンPOLA所属
ALFA新体操クラブ所属

松原（まつばら）　梨恵（りえ）さん

（岐阜市立長良中学校出身）

2012ロンドン大会、2016リオデジャネイロ大会
2大会連続オリンピック出場！

「新体操」は、オリンピックでは女子の種目のみ行われています。13m四方のマットの上で、手具（道具）を使って、音楽に合わせて演技をし、芸術性や美しさを競う採点競技です。

団体種目は、5人が同時に演技を2回行います。リオでは、1回目がリボン、2回目がフープ（輪）とクラブ（こん棒）の手具を使って演技をしました。

団体決勝のリボンの演技（写真：アフロスポーツ）

新体操をはじめたきっかけは

3歳の時、テレビ番組を見ていたら、体操のお姉さんがリボンを振って踊っていました。私も真似をして、棒に布をつけて踊っていました。その様子を見ていた母が、近くの新体操教室に入れてくれて、新体操をはじめました。

新体操の魅力は

フープ（輪）やリボンを使って曲に合わせて踊る楽しさです。フロアーで踊る時は、みんなが一人（演技者）に注目してくれます。緊張はするけど、やり遂げた時の達成感は何とも言えない満足感が大きいです。

うれしかったことは

リボンとかボールを使って踊ることはすごく楽しいことです。最初は、発表会に出ることを目標にしてやっていたので、発表会に出場し、母親にほめてもらった時は、とてもうれしかったです。そのうちに目標を達成するときに大きな喜びを感じるようになりました。

辛かったことは

中学生くらいから大きな大会にも出るようになり、なかなか結果を残すことができないときにさみしさを感じましたが、練習は辛いとは思いませんでした。でも、高1で日本代表に選ばれてからは、辛いと思う時もありました。ロシアでの練習では、コーチもロシア人で言葉が分からなかったり、練習がスピーディーだったりしてついていくのに必死でした。代表メンバーは仲間でもあり家族のような存在ですが、ライバルでもあるので、競い合うことや、自分にはできない技があったり、けがをしてしまったりして、大会に出られなかった時も辛かったです。

新体操を続けてきてよかったことは

練習で辛いことがあっても、みんなで演技をやり遂げた時に先生や仲間と喜んだり、観客から拍手をもらったりした時は、今までやってきてよかったと感じます。

これから夢をかなえようとする小中学生のみなさんへのメッセージ

目標をもつことが一番大切です。はじめから、「できない」とあきらめてはいけません。やり続ければ、必ずその夢に近づけます。辛いこともありますが、自分を成長させてくれるものです。

「夢をあきらめるのはいつも自分自身。夢は逃げない。自分が逃げるから夢をかなえられない。」という言葉を聞いたことがあります。最後まであきらめず、頑張り続ければ絶対に夢がかなうと信じています。

松原さんの好きな言葉は「継続は力なり」だそうです。「継続したことは力になるし、自信にもなります。また、気持ちのもち方ひとつで、結果も変わってくる。」と、熱く語ってくれました。オリンピックという大舞台に2大会連続して出場できた理由が分かったような気がします。私たちも、「目標に向かって続けること」を大切にしていきましょう。

平成28年度 家庭教育啓発市民運動「決めて、守ろう！〔我が家のルール〕」

平成28年度　家庭教育啓発市民運動

「決めて、守ろう！〔我が家のルール〕」作品審査結果

- **募集期間**：平成28年9月～10月
- **募集対象者**：市内小学校5・6年生児童及び中学校1年生生徒
- **募集内容**：「我が家のルール」とそれに関する家族の様子や思いについての作文
- **評価**：「我が家のルール」と作文の内容で総合的に判断
- **応募総数**：3,504点
- **応募学校数**：48校（小学校35校、中学校13校）

賞	学校	学年	氏名	我が家のルール（作文の題）
優秀賞	三輪中	1年	堀井　千聖	物を捨てるときは「ありがとう」と一声かけて
優秀賞	鏡島小	6年	若山　楓	カレンダーにニコちゃんマーク
優良賞	三里小	6年	野口　珠夢	使ったら
優良賞	黒野小	6年	久世　晃輔	玄関は美しく
優良賞	則武小	6年	田下ひかり	一日の出来事を家族ノートに書こう
優良賞	三輪南小	6年	矢口　陽斗	おふろでのルール
優良賞	岩野田北小	5年	岡本　薫夜	「いってらっしゃい」のおまじない
優良賞	三輪北小	5年	桜木　成夢	おじいちゃんへのお参り
佳作	三輪中	1年	阪本　夏未	心を言葉に
佳作	岩野田小	6年	日比野彩優	家族全員の食事が終わるまで、テレビを見ない
佳作	則武小	5年	大塚　示温	弟の良い事見つけ
佳作	則武小	5年	長屋　優太	我が家は小さな教室
佳作	且格小	5年	村本　隆真	好きになるまで食べなさい
佳作	岐阜小	5年	中西　真尋	一日一つ、良いことみつけ

優秀賞

我が家のルール　物を捨てるときは「ありがとう」と声かけて
堀井（ほりい）　千聖（ちさと）（三輪中学校　1年）

我が家では、家族全員が「不用品」を捨てるときに、モノに対して「ありがとう」と言おれを言って捨てます。

いつも使っている短く、小さくなった筆記用具や、小さくなったり、汚れたりした衣類品等が段々と愛おしくなってきます。

モノというのは、必ず意味があって私達のところに来るそうです。その人に何かを気づかせるためにやってきたり、自分（モノ）が処分されることで、その人の「悪い運気」を持って行ってくれたりもするそうです。そう考えると、自分の周りにあるすべてのモノが愛おしくなります。モノが私達家族を守ってくれたり、私達の人生を応援してくれたりしています。

今日もありがとう！　いつまでもありがとう！

優秀賞

我が家のルール　カレンダーにニコちゃんマーク
若山（わかやま）　楓（かえで）（鏡島小学校　6年）

私の家では、家族全員そろうことがあまりありません。そこで、用事がなく家族全員そろう日のカレンダーのマスに、ニコちゃんマークをつけています。このルールは、会話ができるだけでなく、お母さんがこんだてを作るのにも役立っています。

食事をする時に、私は学校のこと、お母さんは仕事に持って行ったお弁当のこと、お父さんは仕事のことについて話しています。また、明日の予定を聞き合って一緒にいる時間をとっています。

前はお父さんに会わない日が四日ぐらい続いたり、会っても話さなかったりしたけどニコちゃんマークをつけることで話すことの準備ができるし、家族の会話ができて温かいふんいきになったので、もっと笑顔が増えるようにしていきたいです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。“家族でふれあう時間を大切にしましょう！”

講座レポート！

グローバルチャレンジ講座

10/30（日）　科学のひみつにせまれ

10円玉と1円玉と食塩水をしみこませた紙で電池を作ったよ。

今年は、液体窒素の不思議な世界と身近な物を使って電池を作る実験をしました。

液体窒素で凍ったバナナで釘を打つことができたよ。

11/13（日）　外国の人とふれあおう

ブラジル、中国、ベトナム出身の留学生から文化、言葉、遊びを学びました。

「だるまさんが転んだ」と「鬼ごっこ」を掛け合わせた遊びをしたよ。

ブラジルではポルトガル語を話します。昔はポルトガルの植民地だったのです。

お仕事体験講座

7/27（水）　災害援助自衛隊

東日本大震災から間もなく6年になります。災害が発生した時に、救助に駆けつける組織の1つに自衛隊があります。講座では、陸上自衛隊岐阜分屯地を会場に、人命救助システムの見学、資材運搬車のクレーン操作や宿営天幕（テント）の設営を体験しました。また、隊員の方と一緒に昼食をとり、仕事の内容や、やりがいについてのお話を聞き、仕事に対する理解を深めました。

貴重な体験をすることができたよ。

スキルアップ講座

10/29（土）　いぬとねことひとのきもち

飼い主の都合で捨てられた犬や猫の現状を知ったり、ペットとの関わり方を学んだりするだけでなく、「命」の大切さについて考えることができました。犬や猫にも人間と同じように個性があり、それを理解して付き合うことが大切なことを学びました。

動物を飼うことは、責任をもち、最後まで愛情をもって、家族として共に生活することが大切だと感じました。

編集後記

みなさんには、「座右の銘」がありますか。座右の銘とは、自分で心がけている言葉や、大切にしている言葉のことです。好きな言葉や心に残った言葉、名言、格言、ことわざ、四字熟語、歌の歌詞のフレーズなどがそれにあたります。

こういった言葉を何か1つ持っておくことで、困難にぶつかった時に、勇気づけてくれたり、背中を押してくれたりします。

今回取材をした松原梨恵さんは「継続は力なり」という言葉を大切にし実践することで、2大会連続のオリンピック出場を成し遂げました。

自分の「座右の銘」のような生き方ができるよう、一日一日を大切にし、日々努力することを怠らず、自分磨きをしていきましょう。

第47号　平成29年2月15日発行

編集・発行

岐阜市教育委員会
中央青少年会館

〒500-8813　岐阜市明徳町11番地
TEL/FAX 058-266-5134

語り合おう夢！活かそう力！

小中学生のための地域情報発信誌

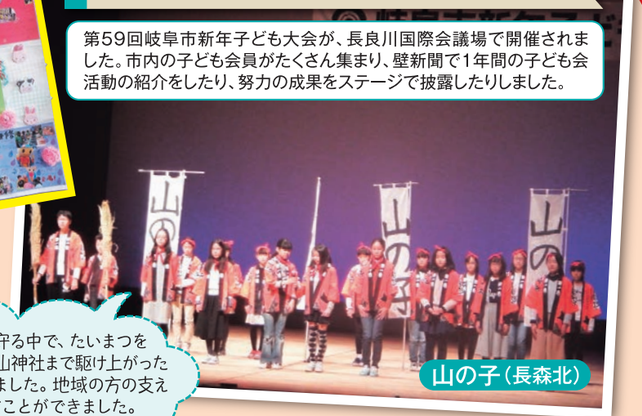
egg（えがお げんき ぎふっ子）エッグ

eggマスコットキャラクター いのくっち

第59回岐阜市新年子ども大会　H29.1.22

第59回岐阜市新年子ども大会が、長良川国際会議場で開催されました。市内の子ども会員がたくさん集まり、壁新聞で1年間の子ども会活動の紹介をしたり、努力の成果をステージで披露したりしました。

壁新聞（明郷）



山の子（長森北）

地域の人の見守る中で、たいまつを持って志を語り、白山神社まで駆け上がった時の様子を発表しました。地域の方の支えがあって勇気を出すことができました。

この地からこの力

2大会連続出場

松原　梨恵さん（長良中学校卒業）
新体操競技・団体
2012年ロンドンオリンピック
2016年リオデジャネイロオリンピック

いきいきインリーダー

クリスマス会 H28.12.10

木田インリーダー研修会で、マドレーヌ、ドーナツ、塩せんべいに飾りつけをして、オリジナルのデザートを作りました。一人一人の個性を磨く、素敵な研修会でした。

楽しいね！

インリーダー研修会で、いろいろな体験ができるので楽しいです。育成者の皆さん、いつもありがとうございます。

特集　岐阜市の青少年リーダー

vol.47
2017.冬号
岐阜市発 情報発信誌

eggのホームページにアクセスしよう！
デジタル egg　検索

岐阜市ホームページ　http://www.city.gifu.lg.jp/

発行　岐阜市教育委員会 中央青少年会館